

報道関係者各位

2022年8月22日
福井コンピュータ株式会社

測量 CAD システム「TREND-ONE」の最新版、 3つのオプションプログラムを新設し 2022年9月20日（火）リリース

オプションプログラム「土地実地調査書」、「河川定期縦横断」、「河川定期縦横断点群連携」が新登場！

建設業向け CAD メーカーの福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：杉田 直）では、「土地実地調査書」、「河川定期縦横断」、「河川定期縦横断点群連携」のオプションプログラム新設と、既存機能のブラッシュアップを図った測量 CAD システムの最新版、「TREND-ONE Ver.6」を2022年9月20日にリリースいたします。

【新オプションプログラム】

- 土地実地調査書
 - 用地測量業務委託における成果物として必要とされる“土地実地調査書”を効率的に作成できます。
- 河川定期縦横断
 - 一級河川の重要な河川区間において、最新の河道形状や長期的な河道変化を把握することを目的とした河川定期縦横断業務の成果物を効率的に作成できます。
- 河川定期縦横断点群連携
 - 河川測量における点群活用の普及が想定されるため、弊社の3D点群処理システム「TREND-POINT」（トレンドポイント）と連携し、点群を活用した縦横断成果が作成できます。

また、基本機能においても3次元計測機能の強化などのブラッシュアップを図っており、新オプションのリリースと併せて、生産性向上をサポートして参ります。

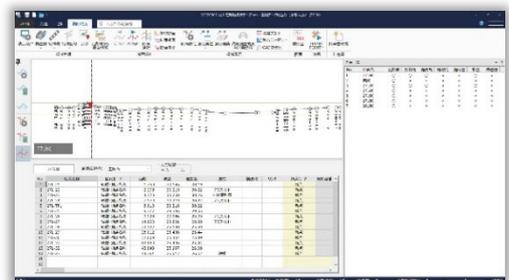
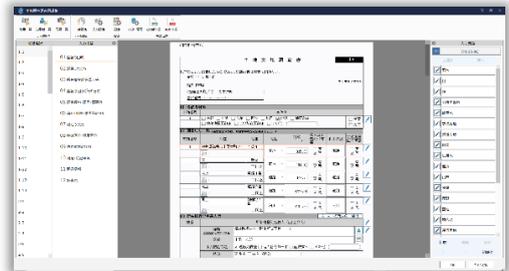
【リリース日】

2022年9月20日（火）

【価格】（税抜）

測量 CAD : 45 万円～

※各オプション価格は別紙参照



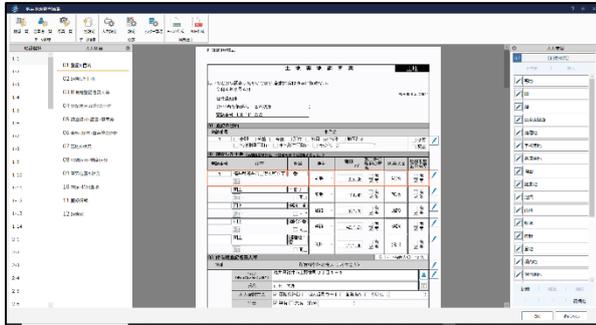
【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータ株式会社 事業本部 営業企画課 担当：牧野

福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 HP : <https://const.fukuicompu.co.jp/>

Tel : 0776-67-8860 問い合わせフォーム : <https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

[別紙]TREND-ONE Ver.6 新機能

新オプション：土地実地調査書

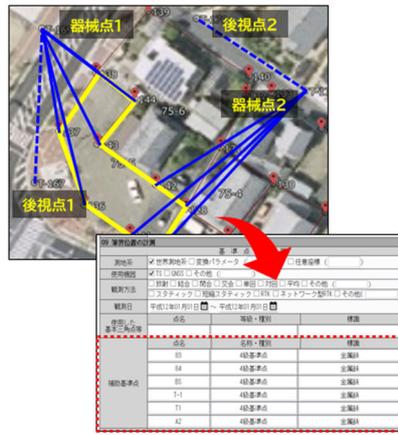


- 用地測量業務委託における成果物として必要とされる「土地実地調査書」を、座標管理や地番管理、トラバース計算から情報を一括で取込み、効率的よく作成できます。
- 価格：20万円（税別）

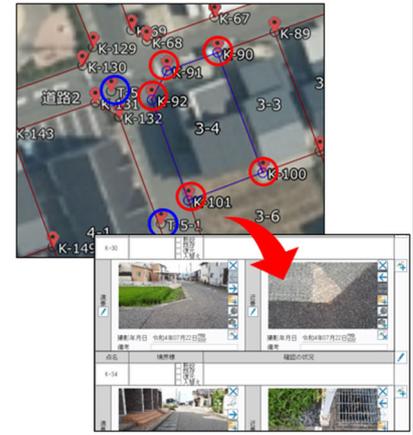
●隣接地番を自動でセット



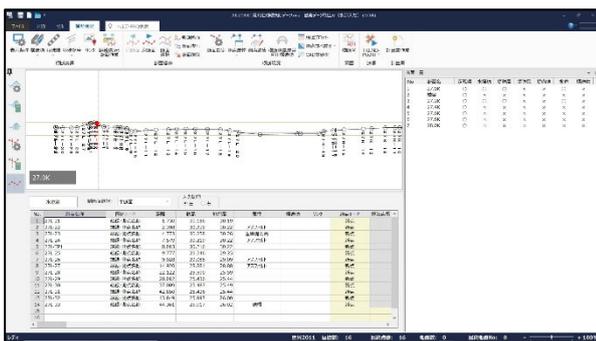
●基準点(トラバース点)を自動でセット



●境界杭・基準点(トラバース点)写真を自動でセット

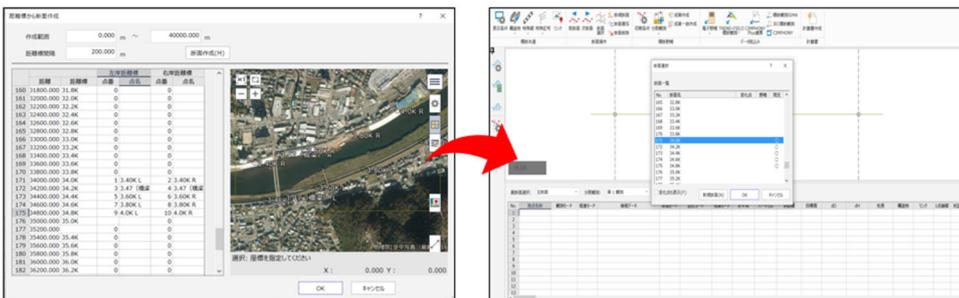


新オプション：河川定期縦横断

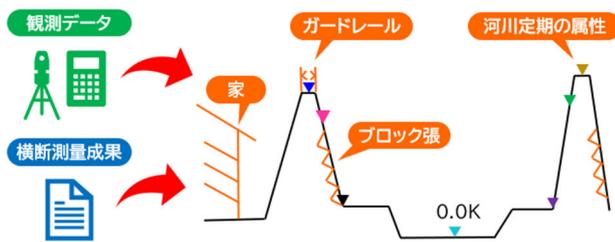


- 河川定期縦横断測量に必要な「測量成果整理表」「測量成果（数値データ）」「縦断面図」「横断面図」「観測手簿」「精度管理表」を規定の形式で作成できます。
- 価格：60万円（税別）

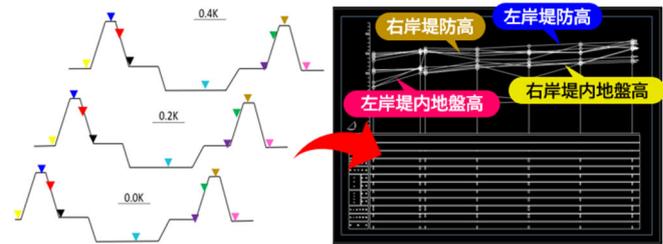
●河口基点から200m毎に、断面と両岸の距離標を自動作成



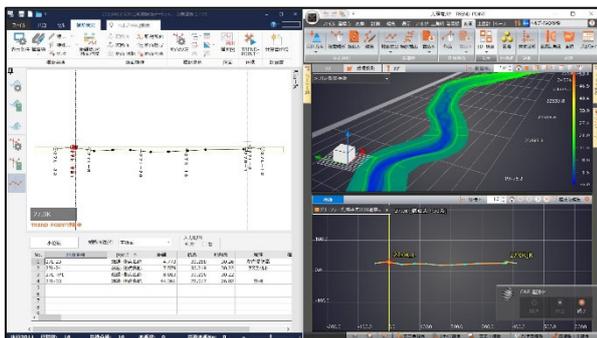
●観測データや過去の横断測量成果から、属性を自動で割り当てる



●横断に属性を与えることで、縦断を自動作成



新オプション：河川定期縦横断点群連携



※国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 提供データより

- 河川定期縦横断の作業に、弊社の 3D 点群処理システム「TREND-POINT」を連携することができ、成果作成を飛躍的に効率化します。

- 価格：30 万円（税別）

※河川定期縦横断オプションプログラム及び TREND-POINT が必要になります。

● UAVレーザー等による測量から、効率的な成果作成をサポートします



※地理院タイルが画面内に含まれています。

【補足】

弊社において別ブランドにて販売している測量 CAD システム「Mercury-ONE Ver.6」につきましても、「TREND-ONE Ver.6」同様の対応となっております。

以上